

やさかだより No. 97

八坂地域づくり協議会

<https://www.shinshu-yasaka.com> 2023 年（令和 5 年）7 月 1 日

7月号の記事

地域づくり協議会の活動から	2
花いっぱい事業	3
地域活動	4
たけのこ保育園/八坂小中学校 （後期課程）	5
八坂小中学校（前期課程）	6
コミュニティスクール	7
山留の風	8
民生係/公民館	9
話題の八坂人	10



6月17日（土）晴天のもと4年振りに地域住民と保育園、小中学校合同で八坂地区ふれあい運動会を開催することができました。
運動会の記事は次回9月号に掲載予定です。
お楽しみに!!

八坂地区の人口: 729 人

（男363人・女366人）

八坂地区の世帯: 350 世帯

（令和5年6月1日現在）

地域づくり協議会の活動から

期日	区分	内容等
5/16	八坂だより編集会議	・ 7 月号の編集内容について
5/26	第 1 回八坂地域づくり協議会	・ 大町辺地総合整備計画の策定について（企画財政課） ・ 市堆肥センターについて（生活環境課） ・ 八坂警察官駐在所連絡協議会（鈴木巡查部長） ・ 5月6日～7日の豪雨に伴う災害について（支所産業建設係） ・ 令和5年度要望書について ・ 花いっぱい事業について ・ 八坂太陽光発電事業協力金について ・ 第45回やまびこ祭りについて ・ 相川・大曲ポケットパーク花植えへの協力 ・ 長野県警街頭防犯カメラ設置促進事業について
6/5	第 1 回地域間交流事業実行員会	・ 地域間交流事業開催について
6/24	相川・大曲ポケットパーク花植え	・ 八坂商工倶楽部・やさかボランティア隊

＊八坂秋まつりを10月28日に開催します＊



6月5日（月）第1回地域間交流事業実行委員会が開催され、実行委員長には北澤伸夫さん、副実行委員長は竹本明信さんが選出されました。

なお、今年は「八坂秋まつり」を10月28日（土）、八坂地区文化祭の1日目の夕刻に開催することが決定しました。

恒例のお楽しみ抽選会や打上げ花火のほか、プロによるアトラクションや露店の出店も企画していく予定ですので、大勢の皆さんの参加をお待ちしております。



各集落に配りました

花いっぱい事業 各集落で花植えを行いました。



八坂地域づくり協議会は今年度も「花いっぱい事業」を実施しました。この事業は花壇づくりを通じて、地域、世代間を越えた交流を深め、集落の活性化と美しい地域づくり活動を推進する事業です。トラック3台に満載された花苗を各地域に配り地域の方たちが花壇に植えました。

石原自治振興会(八坂大滝ポケットパーク)

6月10日に毎年恒例の大滝花壇の花植え作業を実施しました。また、併せて大滝周辺と石原基幹センターの草刈り及び、消火栓周りの草刈り作業も手分けして行いました。前日までの降雨により、日頃は少し寂しい滝が「これぞ大滝!!」という水量になっており、雄大な滝をバックに気持ち良く花植えをすることができました。



野平自治振興会(国道19号沿い花壇他)

山留生も駆けつけ雨の中花植えを行いました。



切久保自治振興会

切久保馬場沢(ばんばざわ)公園整備

6月4日、切久保自治振興会では馬場沢公園整備(草刈)に併せて、防災倉庫のお披露目と特殊花火講習会を行いました。

青い空の元、各自が持ち寄った草刈機が一斉に鳴り響き、たちまちきれいになっていきます。公園内の桜と梅は植樹して十八年を迎え、剪定が必要になっていきます。

続いて切久保グラウンドに移動して周囲の草刈作業終了後、駐車場に設置された防災倉庫を参加者全員で確認しました。防災倉庫内にどんな物品が備えられているのか、初めて見るので興味津々です。

大地震や豪雨災害でライフラインが停止、地域が孤立し必要になった時、どう活用するのかを学びました。

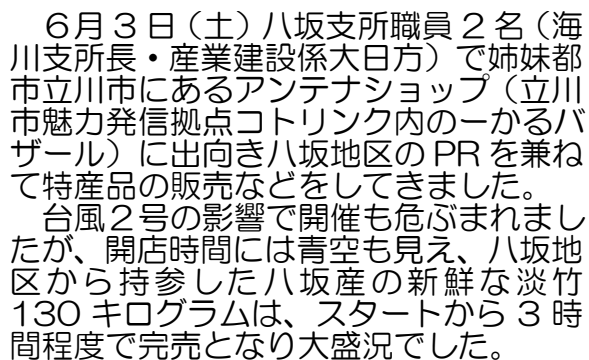
発電機のカソリンやガスコンロのボンベ調達方法、他に揃えて欲しいものなど皆で意見を出し合い、有事に備えるの情報が共有を図りとても良い機会になりました。

最後に有華松煙火さんによる動物駆逐用特殊花火講習会を行いました。近年猿が駆除されたこともあり、三連発花火の音を聞くことが少なくなりましたが、おもちゃ花火ではなく、いので、毎年一回以上保安教育が義務づけられています。

動物も生きるために食べなければなりません、猿はトウモロコシ等が完熟するのを見計らってやってきますし、今問題になっているのは鹿です。雪が降ると食料を探しに鹿が野沢菜畑に集まってきます。農地を守るため今後は、更に高い電気柵の設定等が必要になっていきます。



立川市のアンテナショップで八坂をPRしてきました！



完売後もさらに人気は続き、淡竹目当ての来店者が後を絶たず「この淡竹おいしいから楽しみにしていたのにもう終わり？今度はいつ来るの？」など残念がる言葉をいただきとてもうれしくなりました。

淡竹たけのこ
1kgあたり ¥300

長野県大町市 八段産



遠足、楽しかったよ〜♪

5月18日(木)、いいお天気の中、西公園 & 大町図書館に遠足に行きました。朝から、大きなバスに大興奮で、にぎやかに出かけました。西公園にはたくさんの遊具があって、好きな遊具で遊んだり、公園のまわりを散策していろいろな自然物を見つけたりして楽しみました。いちばんの楽しみは何といてもお弁当です。木陰でみんなでまるくなって食べました。愛情たっぷりのお弁当はとてもおいしかったです。午後は大町図書館で読み聞かせをしてもらいました。楽しいパネルシアターにくぎづけでした。

あまりの暑さに予定を早めて帰園しました。体調を崩してしまう子も見られましたが、子どもたちは春の遠足を満喫できました。

基地遊び、開始!!

今年も基地あそびが始まりました。みんなで草を取ったり、水路を掃除しました。道具を運んで、タープも張って準備完了。泥んこになって楽しんでます。

5月26日(金)の参観日には、お家の人にあそんでいる様子を見てもらいました。ロープで斜面を登るのも、上手になりました。大きな木にお友だちと登って「やっほ〜!」と得意顔でした。蛇いちごを取ってきてお料理もしました。「力二、早く出てこないかなぁ。」と楽しみにしています。これからも、八坂ならではの体験を思いきり楽しんでいきたいと思います。お家の方、お洗濯よろしくお願ひします。



八坂小中学校後期課程

5月16日(火) ガードレール磨き

は、八坂小中学校として、第1回目ですが、八坂中学校時代から数える41回目を迎える伝統的な行事「ガードレール磨き」が行われました。5年生から9年生までの児童、生徒だけでなく、建設事務所・八坂支所・地元建設業者・協働ボランティア・保護者など地域の皆様にご協力をお願いしながら作業を進めました。当日を迎えるまでには、地域の皆さんが作業しやすいようにガードレール付近の草刈をしてくださいました。たくさんの皆さんに支えられながら活動出来ていることに感謝です。



好天に恵まれ、4月28日に連学年での遠足を実施することができました。1～2年生は、学校協働隊の北澤伸夫さんと伊東昌希さんに同行していただき、唐花見湿原への長い道のりをがんばって歩き、八坂の自然を満喫しました。

3～4年生は、学校協働隊の吉原克巳さんに森林学習をしていただき、小野和歌子さんにも付き添っていただいて鷹狩山までの長い道のりをがんばって歩きました。

5～6年生は、渡辺恵子さん、田中照幸さん、秋山弥生さん、八羽田匡彦さんにご同行いただき、ごぜ岩にまつわる伝説や矢田川の磨崖仏のいわれなどをお聞きし、矢田川での川遊びも楽しんで、長い距離の山道を歩き通してきました。

子どもたちの安全確保とともに、地域の自然や地形、歴史伝説などに関わるお話を学校協働隊の皆さんから拝聴し、大変学びの多い遠足にすることができました。協働隊の皆さん、ありがとうございました。

1・2年生

唐花見湿原で記念撮影



3・4年生

鷹狩山山頂で記念撮影

5・6年生

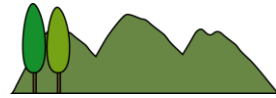
矢田川の磨崖仏の前で記念撮影



校舎周辺環境整備作業を実施しました

5月の授業参観日の午後、八坂小中学校そよかぜ校舎とせせらぎ校舎の環境整備作業を、児童・保護者・地域の方々・教職員で行いました。1時間程度の作業時間でしたが、大勢の皆様で草刈りと草集め、トイレ掃除等に取り組んでいただいたおかげで、校舎内外が大変きれいになりました。暑いなかでしたが、山留生保護者の皆さんから、飲み物の差し入れをしていただき、喉を潤すことができました。皆様のご協力に心より御礼申し上げます





小学5年生 田んぼの活動記録

水路整備～4月30日(日)～

ボランティアの方々、5年生保護者、山留生の協力のもと、水路整備を行ないました。出だしから管につまりがみつかり、ハプニングもありましたが、ボランティアの方々と保護者にて対応でき、無事に終わることが出来ました。子どもたちもスコップを手に、一生懸命泥さらいや落ち葉を除去する作業を行なっていました。終わりに、学校支援ボランティアの渡辺さん手作りおにぎりをみんなでおいしくいただきました！

代掻き～5月8日(月)～

気温も低く、強い風が吹いている1日でしたが、学校支援ボランティアの北澤豊繁さんのご協力のもと、代掻きを行いました。北澤さんに田んぼで使用する道具や代掻きの仕方を説明していただき、足を使ってならしたりして、泥だらけになって楽しく遊びながらの作業となりました！

田植え～5月17日(水)～

昨年同様、暖かい日差しの中、田植えを行ないました。学校支援ボランティアの北澤豊繁さん、北澤伸夫さんにお手伝いいただき、コシヒカリの苗を植えました。苗の間を等間隔に植えていくのが難しかったですが、繰返していくうちに感覚をつかめたようです。植えれば植えるほど上達していきましました！お米は、水が命です！おいしく育つように、みんなで成長を見守りながら世話をしていきましょう！

今年から赴任された担任の田上龍生先生の感想を紹介します。

「八坂は、すごく地域の関わりが深く、田んぼ作業は素晴らしい活動だと思います！子どもたちも熱心に作業を行ない、足で代かきをすることは、正直驚きましたが、子どもたちにとって良い経験となっていて、八坂ならではの素晴らしい活動と思っています！昨年は、害獣に田んぼに入られ、収穫が少ない年でしたが、今年は、たくさんのおいしいお米を収穫し、秋の収穫祭を行えることがとても楽しみです！」と感想をいただきました。たくさんのおいしいお米と盛大な収穫祭を楽しみにしています！



「カブトムシの学習」(1, 2年生)

1, 2年生に5月16日(火)、17日(水)の2日間で、カブトムシの学習を行いました。私自身も幼少の頃に育てていました。子どもの夏休みの課題(自由研究)目的として、八坂(野平)から幼虫を採取してカブトムシを育て始めて、16年くらいになります。

最初に幼虫についてどのような場所にいるのか？どのように持つと良いのか？など注意点を伝え、オスとメスの識別方法、さなぎになる前の準備、成虫に孵化してから育て方を中心に伝えていきました。2年生は、男の子で



みんな虫好きのようで真剣に話を聞いていましたが、1年生は、虫が苦手かな？という子もいて、最初少し引き気味でしたが、みんなが幼虫に触れていると自然に顔をのぞかせていました。特に幼虫の糞を見ることがはじめての子どもたちが多く、興味津々でした。その糞が栄養分は少ないが、畑などに肥料として蒔けること、糞が自然と土にかえる事は、子どもたちに理解しがたい話だったかもしれません。



これから成虫となり、卵を産み、幼虫となる、この一連の過程をしっかりと確認するためには、日々の世話が大切です。子どもたちはこの一連の過程で、「命の大切さ」をどのように感じてくれるのか？とても楽しみにしています！

(学校支援ボランティア吉田敏之)

山留の風

育てる会 TEL:26-2306 HP:www.sodateru.or.jp

GW 親子行事

今年のGWは、これまで感染防止のために中止していた、学園生保護者のセンター宿泊も再開し、1泊2日で農家訪問や親子太鼓、親子散策を行いました。農家訪問では、1年間お世話になる農家さんのお宅を、保護者が訪ねてあいさつをしました。農家さんお手製の漬物や、おはぎ、煮物、山菜料理など、都会では味わえない地の物をたくさんいただきながらひと時を過ごしました。夕方には4月から全員で練習をしている太鼓の演目を、家族と一緒に叩きました。覚えてたの新入園生もお父さん、お母さんにリズムを教えてあげる様子がありました。

2日目の親子散策では、センター周辺を4グループに分かれて散策。タラの芽やコシアブラなど山菜も採ることができました。お昼には採れた山菜を天ぷらにして、うどんと一緒にいただきました。普段、都会で生活している保護者の方々も八坂の自然や文化に触れ、子どもたちがどのような環境で日々過ごしているのかを、感じる事ができたのではと思います。



田んぼの作業



保護者とお別れをし、その日の午後には田んぼの代かきをしました。センターでは田んぼの作業の大変さ、先人の苦労を体験するため、できるだけ手作業で行います。全員で裸足になって田んぼへ移動。横5列になって、みんなで歩くことで徐々に土と水が混ざり、固かった足元が緩くなっていくのを感じます。

5月22日には、田植えも行いました。田んぼに引かれた線を目印に、集中して稲の苗を植えていきました。初めて体験する子もいる中でしたが、みんなで協力し合って、全面にしっかり植えることができました。

季節の移り変わりとともに、稲の成長と、センターの田んぼがある棚田の景色の変化が今年も楽しみです。



藍染でエコバッグづくり

高齢者サロン縁が和

八坂支所民生係、八坂総合福祉センター「みさか」で開催している高齢者サロン「縁が和」では6月16日（金）に、エコバッグを使って草木染を行いました。今年は、藍染です。思い思いにビー玉やペットボトルの蓋を使って模様を付けました。皆さん、思いがけない模様が現れ、楽しいひと時を楽しみながら、素敵なエコバッグができました。

八坂公民館の活動から



ゴルフ教室

これからゴルフを始めたい方、久しぶりにゴルフを楽しみたい方を対象に5月19日、5月31日、6月7日にゴルフ教室を開催いたしました。

講師にあずみ野カントリークラブの越原利光さんをお招きし、1回目はルールについて講義をいただき、2～3回目はホクシンゴルフプラザで技術講習を行いました。

参加者は、久々のゴルフに四苦八苦しながら心地よい汗を流し、熱心にボールを打っていました。

また、今回参加された方々は有志でゴルフ場に出向き、実際にコースを廻って楽しむことになりました。

高砂大学入学式

今年で53回目を数える「高砂大学」は、6月8日（木）に入学式を行い、47名の受講者が入学しました。

入学式終了後、明治安田生命松本支社の斉藤功子さんから、「不足している栄養素を知る」と題して、食生活において必要な栄養素の摂取について講演をいただきました。また、日頃どのくらい野菜を摂取しているか、受講生一人一人の測定（ベジチェック）を行い不足している栄養素を確認しました。

午後は、文化財センターの関本景香さんをお招きし、明治期から昭和期にかけて宿場町大町の町並みがどのように発展してきたのかを学び、受講生のみなさんは熱心に聞き入っていました。

高砂大学は、来年3月まで全10回の講座を開催し、高齢者の皆さんの生きがいつくりと交流、社会参加を図っていきます。





明野に住む木村義一（きむらよしかず）です。昨年5月末、八坂に引っ越してきました。八坂で生活を始めてちょうど1年となります。八坂のポスターの「なんもないですけど」が、お気に入りです!!
確かに何もなかったかもしれませんが、何もなかったからこそ自然を五感で感じる事ができる最高の場所だと思っただけです。毎日「なんもない」を楽しんでいます!!
私は、愛知県出身で27年前に大田市へ移住してきました。縁あって鹿島槍スリースクールでスノーボードインストラクターとして始まった大町生活ですが、多くの方と出会い多くの方の助けを受け、今でも大町で生活が出来る事に大変感謝しております。

スノーボードでは、インストラクターを始めてからずっと目標にしていたインストラクターの最高峰であるスノーボードデモンストラーターに3年前に初認定を受けました。現在は「元S.A.Jスノーボードデモンストラーター」としてレスンプロの活動をしながら現役選手を続けています。
グリーンシーズンは、「安全に!! 楽しく!!」をモットーに湖でSUPガイドやコース管理されているコースでマウンテンバイクツアーガイドをしています。
同じ明野に住む「大町マウンテンバイクトレイルクラブ」代表の新沢さんから八坂を含む大町の東山には無数の古道がありその古道をマウンテンバイクで楽しめるようにと活動をしていると聞ききました。私もこの活動に協力して八坂の歴史を感じながらマウンテンバイクで楽しめる八坂にして地域の活性化に貢献したいと思います。



編集後記

編集後記
やさかだより編集委員として、文章も写真も自信がなくお役に立てるかどうかわかりませんが、思い悩んでいるうちに、編集後記の順番が回ってきてしまいました。

七月号が発行された後になりますが、私も手伝っている野平の子どもマジックが、7月16日に開催されます。

今年は保護者の皆さんから山留生が夏休みで帰省する前に開催して、山留生も参加できるような日程にしてはどうかというお話があり、16日に決定しました。当日は舟場の子供たちも一緒に参加して楽しみたいです。今年は地域の多くの事業が再開されつつあり、編集委員が取材にうかがい地域の皆さんにご協力いただくことも多くなってくると思いますが、その際は皆様よろしくお願いします。

舟場自治振興会

竹村梅次郎